

学社連携・融合コーディネート事業

社会教育と学校教育が連携して互いの教育力を活用することや、一体となって青少年の教育に取り組む学社融合を積極的に進めるため、関係者への意識改革をはじめ、学社連携・融合の推進体制の整備や、調査研究、コーディネート機能の充実に努めた。

1. 楽習室事業

土曜日を中心に学校の教室や体育館を使って、子どもと大人が共に楽しく学ぶ場を提供する楽習室を円滑に実施するための環境づくりや、実施主体である「楽習室実行委員会」への支援を行うことにより、「教育コミュニティ」づくりを推進した。

平成27年度楽習室実施状況

中学校区	活動等	開催回数 (回)	子ども (人)	大人 (人)	スタッフ (人)	合計 (人)
長野	「かたん手作り風鈴」ほか9活動	10	1,470	154	282	1,906
西	「みたらし団子作り」ほか7活動	8	336	46	81	463
東	「ハットトクツを作って飛ばそう」ほか9活動	10	365	81	103	549
千代田	「さつまいもを収穫しよう」ほか9活動	10	496	134	134	764
加賀田	「ゲームとお昼ごはん作り」ほか8活動	9	539	164	126	829
南花台	「電子レンジで作るイチゴ大福」ほか8活動	9	422	96	162	680
美加の台	「おはなし会」ほか9活動	10	578	120	75	773
合計		66	4,206	795	963	5,964

2. 学社連携事業

学校教育において、ふるさとを知る、ふるさとに愛着をもつため「ふるさと学」を推進している。その一環として、各学校と社会教育が連携し、市内の各施設において、子どもたちが体験活動を行うための支援を行った。

また、学社連携事業として実施している下記事業のコーディネートを行った。

- ・くろまる館「体験学習」
- ・「小学校エネルギー環境教育」
- ・「ふるさと学体験事業」
- ・「えほんのひろば」
- ・ガーデニング教室

3. 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、地域住民が学校支援ボランティアとして活動するための体制を整備した。各小学校に学校支援地域本部をはじめとする地域住民の交流・活動の拠点づくりを整備することで、「あいさつ運動」「清掃活動」等、学校と地域の連携活動の打ち合わせや、学校支援コーディネーターが学校と地域の窓口としての活動を行う上でより動きやすい環境づくりができた。

また、地域の方々の「読みきかせ」や「昔遊び」等の体験交流活動を行う場として活用する等、「見守り隊」や「学校支援ボランティア」等も含め、地域の方々が様々な活動を通じて学校を支援するための体制が構築された。